

(仮称)横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業  
環境影響評価準備書に関する指摘事項等一覧

■事業計画について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
事業計画	生物多様性の保全に関して、書き込みすぎているように感じます。できることとできないことを検討し、できないことであれば、どこまで具体化できるのか記述したほうがよいのではないかと思います。[3/8 審査会]	評価書の段階で、具体性を見極めながら、訂正すべきところがあれば、訂正します。[3/8 審査会]	
	防災に関して、災害時に居住者が下へ降りてきて地域が混乱することのないように、建物の中が安全なら留まっているように情報提供できるようにすることを記述しておいたほうが良いと思います。[3/8 審査会]	評価書に記述していきたいと思います。[3/8 審査会]	

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者側の説明等	取り扱い
温室効果ガス	宿泊・複合施設に関しては LED 照明の導入を考慮して CO <sub>2</sub> 排出量削減を試算しているが、住宅施設では考慮していないのはなぜですか？[3/8 審査会]	今回の住居施設は分譲住宅のため、基本的には入居される方が LED 照明を導入するかを決めます。このため、今回は住居施設に関しては、LED 照明導入を考慮しないで算出しましたが、評価書の中で、精査していきます。[3/8 審査会]	
	住居施設の電力使用量はどうか？ [3/8 審査会]	日本サステナブル建築協会を出している電気使用量の原単位を引用しています。[3/8 審査会]	
	LED 照明導入による CO <sub>2</sub> 排出量削減の評価だけでなく、太陽光パネルや断熱材の使用によりどう変わるかを、文献値を採用しても構わないので、評価できないでしょうか？ [3/8 審査会]	次回に回答します。[3/8 審査会]	補足資料 1 [3/28 審査会]
	コージェネレーションで発電した電力は電気使用量から差し引いているのですか？ [3/8 審査会]	差し引いていません。[3/8 審査会]	

■環境影響評価項目について

温室効果ガス	比較対象としてあるシステムを考え、それに対して今回の計画がコージェネレーションなどの省エネルギー対策によるCO <sub>2</sub> 削減量を含めてどの位削減されたかという評価をしなければいけないと思います。[3/8 審査会]	比較対象としての一般値を模索してみましたが、適切な数値が見つけられませんでした。全体としてどれだけの削減かという点に対して示せていないのは確かです。[3/8 審査会]	補足資料1 [3/28 審査会]
廃棄物・建設発生土			
大気質	供用時の燃料使用に関して、5つの煙源から一つにまとまって排ガスが出ていくと想像するが、それぞれの排ガスは時間的にどう変動するのか、拡散計算はどのようにまとめたのですか？ [3/8 審査会]	準備書の図面の黒丸地点を、煙源の代表点として捉え、この場所で合算して、拡散計算しています。[3/8 審査会]	
	排ガスはどう処理されるのですか？ [3/8 審査会]	設置場所が6階の機械については、6階から排気します。3階の機械室に設置した機械については、煙突を作って6階まで上げ、そこから排気します。[3/8 審査会]	
	想定でいいので、排ガスがどのように排出されるのか示してください。また煙源が建物の陰に入ってしまうので、計算は単純なブルームパフ式ではなく、建物の影響を考えたメトリスを使うべきと考えます。[3/8 審査会]	次回までに検討します。[3/8 審査会]	補足資料2 [3/28 審査会]
騒音	建設機械の騒音の予測において、仮囲いの所で回折減衰が起きるとされているが、このような遮音効果に疑問があります。[3/8 審査会]	事務局とも協議して対応を考えます。[3/8 審査会]	補足資料3 [3/28 審査会]
振動			
地盤 (地盤沈下)			
電波障害	供用時の事後調査項目として、電波障害を選定しなくてもよいのですか？クレームが来た時にその都度対応するのですか？ [3/8 審査会]	基本的にはケーブルテレビの対応が図られている地域での影響になるため、周辺住民等から、質問等があれば、その都度対応していきます。[3/8 審査会]	

■環境影響評価項目について

電波障害	高層の建物が密集しているため、電波障害が起きた際、どの事業の影響であるかを特定することは可能なのですか？ [3/8 審査会]	工事中に電波のひずみが出るようであれば、横浜駅側の影響と考えられます。ただ同時に施工している横浜駅ビルとの区別はつかないと思いますので、駅ビルの事業者との話し合いとなると思います。 [3/8 審査会]	
日影 (日照阻害)			
風害			
安全(浸水)			
	資料編の正誤表の訂正の理由を教えてください。 [3/8 審査会]	隣接事業者から、事後調査計画書をいただいて、大型車両と小型車両の台数を転記した際にミスがあり、小型車両をダブルカウントしてしまったことによるものです。 [3/8 審査会]	
	ピーク時歩行者流量が、休日のほうが、平日よりも小さいのは、なぜですか？ [3/8 審査会]	環状1号を渡った北側に住居、事務所系の建物があり、平日の横浜駅からの通勤通学者が多いからです。 [3/8 審査会]	
地域社会	駐車場待ちの行列の予測にあたっては、満車になった後、どれだけの車を捌くことができるかという駐車場の回転率を考慮に入れていただく必要があると思います。 [3/8 審査会]	次回に回答します。 [3/8 審査会]	補足資料4 [3/28 審査会]
	駐車場の運用に関して、供用時のピーク時発生集中交通量が隣接事業と合わせてどの位になり、それに対して駐車場は隣接事業と合わせてどの位の処理台数を確保しているかという観点から評価するとよろしいかと思われます。 [3/8 審査会]	隣接事業者が駐車場棟に関して設計変更を行っているため、駐車場台数や駐車場への出入りについて、審査会の場で明らかにできるか、はっきりしません。 [3/8 審査会]	
	青木橋交差点の交差点車線混雑度で将来交通量が1.732となっているが、どの位の混雑具合なのか教えてください。 [3/8 審査会]	青木橋交差点では、平日のピーク時に現状150m位渋滞が起きています。現状交差点混雑度1.1で150m位の渋滞なので、1.732ですと渋滞が200mをこえるかもしれません。 [3/8 審査会]	

この資料は、審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱にご注意願います。

■環境影響評価項目について

景観			
----	--	--	--